

# 小野市 小中一貫教育の全体構想

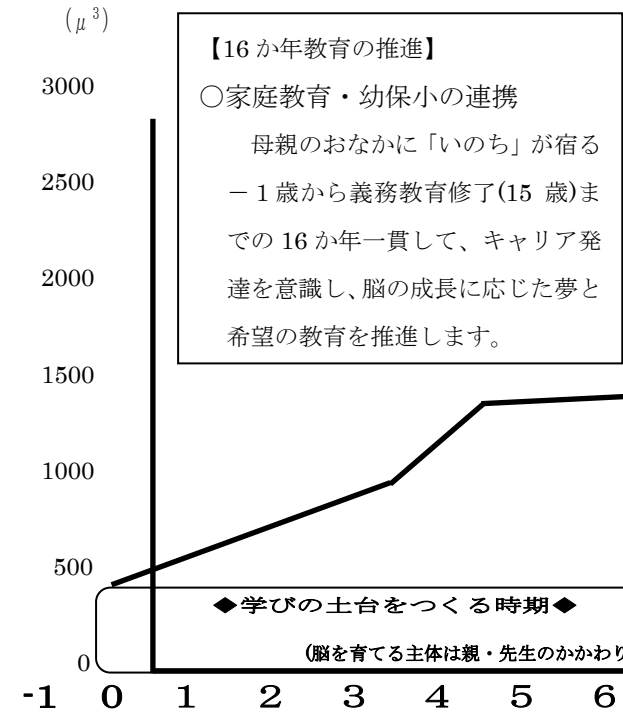
**【基本理念】**

○「夢と希望の教育」の推進  
 キャリア形成を意識し、地域に根ざした小中一貫教育を推進する。(キャリア教育を核に)

○「脳科学と教育」  
 脳の発達に応じた学びの工夫による小中一貫教育を推進する。  
 (教育行政顧問川島隆太教授の脳科学の知見を活かした取組)

	第Ⅰ期 (4年) 1~4年	第Ⅱ期 (3年) 5~7年	第Ⅲ期 (2年) 8~9年
特徴 脳の発達上の特性	児童が「受容」的で、生活・学習の基礎を固める重要な時期。 「こどもの脳」	自立した考え方を始める時期。教科内容が難しくなり、心理的にも揺らぎやすい時期。	将来に対する目標をもち、夢と希望の実現へ向かう時期。 「おとなの脳」
学び	反復・定着による「できた」「わかった」達成感や「知りたい気持ち」「ワクワク感」を重視。	具体的な思考から抽象的な思考へ。「知りたい気持ち」から主体的な問題学習へ。	目標意識(将来の夢や目標を強く意識)や知的好奇心(学ぶこと自体を楽しむ)を重視。
キャリア発達 (例示)	自分の思い、考えを伝えることができる。 自分や友達よさをとらえ、協力できる。 係や当番活動でみんなのために取り組む。 日常生活や学習と将来の生き方とつなぐ。 自分で課題解決しようとする事ができる。	話し合い等で、多様な考えを理解できる。 異年齢集団で役割と責任を果たす。 学びや体験を生活や職業と関連づける。 将来を考える大切さがわかる。 将来の夢を希望の実現へ努力しようとする。	自他のよさ・感情を理解し、尊重する。 チームを組んで支え合いながら仕事をする。 進路・職業の情報を多面的に集め検討する。 自己を生かす将来を現実的に考える。 将来設計実現へ課題解決に取り組む。

脳の神経細胞の大きさ



小中一貫 (前期) 課程	小中一貫 (後期) 課程
小学校学習指導要領	中学校学習指導要領
「夢と希望の教育」 キャリア教育を核とした 自立した人づくり	
「地域の学校」として、学校・家庭・地域が一体となった教育	
入学式	1/2 成人式 (節目を意識する行事)
町たんけん	環境体験
自然学校	ワクワク トライやる
一日体験	(合同授業)
係活動	クラブ活動・児童会活動
部活動・生徒会活動・制服	
学級担任制(復習重視・単元テスト)	教科担任制(ベル着・予習復習・定期考査)
出前・乗入・小中 T.T.T. 授業	
月 2 回 Enjoy English(ALT)週 1 回	外国語活動(ALT) 英語学習(一部 ALT・検定)
理数教育の充実(問題解決・科学的探究、知的好奇心、論理的思考・非連続テキスト)	
小中(小小)合同行事(遠足・外部講師授業等)・〈合同研修会・教師交流週間〉	
生徒指導の一貫性(校外・校内生活のきまり、スモ、びん指導、いじめ・不登校等〈合同委員会〉)	
学びのスタイルの共有(「めあての共有」・児童生徒主役/学び合い(初小ドット)・〈合同授業研究〉)	
学びの基礎づくり(「おの検定」・家庭学習の習慣化・ICT活用・特別支援教育の充実)	
受け入れる	10歳の壁
◆主体的な学びを進める時期◆ (脳を育てる主体は自分自身)	自立

**【教育目標】(めざす人間像)**

**国際社会の中で、たくましく活躍できる  
心豊かで自立した人づくり**

◆重点研究◆

- 縦横の学びのつながり(発達に応じた系統性)を意識した効果的な一貫教育の具体的な実践研究
- 第Ⅱ期(5~7年)の効果的な教育方法・組織的指導体制の実践研究
- 縦割り活動や交流による社会性育成機能強化にかかる実践研究

※学校評価をはじめ、評価指標を明らかにし、PDCAサイクルを生かした継続研究を行う。